

中四国大会結果報告

広島大学体育会バレーボール部同窓生の皆様

(同窓会連絡フォームへ登録いただいた皆様及び同窓会やコートの仲間等でご連絡いただいた皆様へお送りしています。)

いつも大変お世話になっております。

広島大学体育会バレーボール部です。

5/24～26 に岡山県において、中四国大会が開催されました。

広島大学の結果は、以下のとおりです。

(男子)

予選 1 回戦 vs 岡山大学

○2-0 (25-18、25-18)

決勝 T1 回戦 vs 広島文化学園大学

●1-2 (18-25、25-16、20-25)

優 勝 福山平成大学

準優勝 高知工科大学

第 3 位 徳島大学

第 3 位 東亜大学

(女子)

予選 1 回戦 vs 福山平成大学

●0-2 (17-25、11-25)

予選 2 回戦 vs 川崎医療福祉大学

○2-0 (25-16、25-22)

決勝 T2 回戦 vs 福山平成大学

●0-2 (13-25、13-25)

優 勝 中国学園大学

準優勝 環太平洋大学

第 3 位 福山平成大学

第 3 位 至誠館大学

(中国学連 HP)

<https://chugoku.hiroshima-u.ac.jp/tyuushi-top.html>

男子は春リーグと同じメンバーで臨み、リーグ戦で出来ていたことはそのまま出来ていて、2年生の橋本（広島城北高校）や1年生の川村（東京・日本大学第三高校）、北村（兵庫・須磨翔風高校）、廣瀬（島根・出雲高校）にもわずかながら出場機会があったことは良かったところだと思います。また、エースの山下（4年・広島・安古市高校）の状態は決して悪くなく、リーグ戦からわずか2週間後とは思えないほどの回復力とコンディションの調整力を感じましたが、エースの状態が良いからと言って試合に勝てるとは限りません。敗れた広島文化学園大学戦では、相手がライト側にボールを運んで広大の速攻を消し、サイドに2枚張ることをチームとして徹底していたのに対し、広大からは相手をどのように攻略するかが見えず、ポテンシャルが高い相手の長所を終始引き出す展開となっていました。

中四は時期的にリーグ戦と同じメンバーで戦い抜くことは本来難しく、西日までの1か月間が1年間で最もチームづくりが難しいことを考えると、大胆にメンバーを入れ替える大会と決めてしまった方がよいように思います。優勝した福山平成大学は正セッターと両エース不在の中でサブメンバーが躍動しましたが、広大男子も人数としては非常に恵まれていますので、各大会の目標を明確にし、その中でチームとプレーヤーの状態を見て変えられる柔軟さが求められるのだと思います。西日に向けては年功序列や消去法ではなく、選抜式で状態の良い選手から14人のメンバーを選べるように、まずは大人数でも平等に競い合える環境を整えるところから始めて欲しいと思います。

女子は1部上位の力がある福山平成大学と2回対戦することができ、9mをいっぱいに使ったトスへの対応や、チームの中心である西岡（2年・兵庫・姫路高校）がサーブで徹底的に狙われるなど、2部にはない貴重な経験を積むことができました。また、相手のブロックが揃うとスパイクがアウトになったりネットにかけたりすることが増えることも実感したことと思います。ラリー中に速攻とライト攻撃がない現状では相手ミスを待つ以外の戦法がなく、ボールが落ちているのはほとんどが3年生との間であることはきちんと理解しないと上のステージで戦うことはできません。今週は3週間連続となる公式戦の3週目で厳しいチーム状況ではありますが、1年生の平山（広島高校）と佐藤（三重・桑名高校）は共に堂々としたプレーで存在感を発揮してくれていますので、フレッシュな力にもしっかりと頼って怪我なく乗り切って欲しいと思います。

今週は、6/1に女子が国体広島県予選（会場：広島県立びんご運動公園体育館）に出場します。

引き続きよろしく願いいたします。